

あなたの結婚を応援！婚活おせっかいマスター 相談者を募集します

子育て支援課(健康センターミルネ内) ☎ 88 - 5751



相談のイメージ

市が公認する婚活おせっかいマスターが、結婚を希望する独身男女のための良き「おせっかい焼き」となって、あなたの出会いから成婚までをサポートします。

出会いから成婚までの良縁をサポートする「婚活おせっかいマスター」を募集します。身近な地域で、結婚を望む人の応援をしませんか。

○結婚相談者を募集

結婚の相談やお引き合わせなど、あなたの婚活をサポートする婚活おせっかいマスターと一緒に、結婚への第一歩を踏み出してみませんか。結婚を希望する男女を募集します。

■応募資格・条件 / 次のいずれにも該当する人

- ① 18 歳以上
- ② 丹波市に住民票がある
- ③ 世帯に市税などの滞納がない
- ④ 自身の営利や宗教などの目的で活動しない
- ⑤ 市が主催する研修会・意見交換会に参加できる
- ⑥ 毎月活動報告書を提出できる

■登録資格 / 次のいずれにも該当する人

- ① 結婚を希望する 20 歳以上で独身
- ② 結婚後に丹波市で定住する意思がある

■登録および相談料 / 無料。登録者に関する個人情報厳守されます。

●共通事項

■登録申請書類 / 市ホームページ・市役所各支所に備え付けの登録申請書などの提出が必要です。くわしくは子育て支援課まで問い合わせください。

○婚活おせっかいマスターを募集

結婚を希望する若者に対し、ボランティアで

この度、ウクライナから県内に避難して来られた方々に丹波市から12台の自転車を寄贈しました。これらの自転車は、丹波市クリーンセンターに廃棄物として持ち込まれたものを修理したりサイクル品です。今回の寄贈は、日本避難所支援機構の事務局長である金田真須美さんから私に「ウクライナからの避難者に自転車を用意してあげたい。何か良い方法はないでしょうか。」と相談されたことがきっかけで実現しました。日本避難所支援機構は、県と協同でウクライナからの避難者へ生活支援を行っています。丹波市とも関わりがあり、平成26年の豪雨災害の際には、市島でボランティアセンターを立ち上げて被災者支援に当たってくださいました。金田さんとは、その時に出会って以来交友関係が続いています。彼女が東日本大震災などでも現地で支援活動をされていたことは聞いていましたが、ウ

市長・林時彦の
時を駆ける
リサイクル自転車を
贈りました




丹波市長 林 時彦

提供される自転車に笑顔を見せるスピトラナさん(中央)、マルガリタさん(左)

クライナからの避難者支援もされていると知り、敬意を覚えました。
自転車寄贈式の折には、ウクライナから避難し神戸で生活をしているスピトラナさん、マルガリタさん親子が出席し、話をする機会がありました。「循環型社会を目指す市のクリーンセンターのリサイクル品で貢献できることがうれしい。避難者の生活に役立ててもらえればありがたい。」と私があいさつをする、「何千キロも離れた国から来た私たちに、色々な団体があなたにかいサポートをしてくれてとてもありがたいと思っています。」とお礼を言ってくださいました。
先行きの見えない戦争が続いています。お二人の笑顔を見て、一日でも早く平和が戻ることを願わずにはいられません。